



2019年は、社内外でESG(環境、社会、ガバナンス)に関して活発な動きがあった1年間でした。花王の新たなESG戦略として4月に始動したKirei Lifestyle Planには、世界中の人々のこころ豊かな暮らしのために、創造と革新に挑み、よりサステナブル(持続可能)な暮らしを望む人々に応えたいという思いがこめられています。環境面そして社会面でも、懸念が地球規模で広がる中、変革を求める声が世界中で高まっています。その声は、国境を超えて速やかなアクションを求める若い世代に特に顕著です。「ESG視点のよきモノづくり(ESGよきモノづくり)」を進めることで、よりこころ豊かなライフスタイルに貢献できる事業が展開できると考えています。昨年発足したESG推進体制のもとで

注力したのは、最も効果的な花王らしい活動とは何かを見極めることでした。部門責任者が参加するESG推進会議を活用し、各部門の活動目的や目標、進捗管理の体制を構築し、社員一人ひとりが自ら進んで取り組めるように活動してきました。Kirei Lifestyle Planで掲げた目標を達成するためには、私たち一人ひとりが、力を尽くして変化を起こさなければなりません。こうした考えが社内啓発活動、Kirei Lifestyle Plan Caravanの実施へとつながりました。各部門を訪ね、ESG活動に託した私たちの思いについて多くの社員と直接話し合っています。また、科学的根拠に基づくCO₂排出量削減目標であるSBTイニシアチブの公式認定取得をはじめ、具体的な目標を掲げて活動を進めており、気候変動問題

に取り組むうえでの大きな原動力となっています。

花王のESG活動にふさわしい重点アクションの特定作業は今も進んでいますが、その一部は9月に、社長により、強い決意をもって発表されました。今まさに、ESG活動の旅の途上にあります。花王一社の力では歩き通すことはできません。これからもさまざまな協力の機会を模索し、力を合わせることで、花王が持つ強みを何倍にも生かし、私たち全員の目標であるKirei Lifestyleの実現に向けて活動していきます。

ESG委員会の役割

ESG委員会はESG戦略に関する活動の方向性を議論・決定しています。委員長は社長執行役員、委員は専務執行役員、常務執行役員等で構成されています。ESG活動に関する方針や戦略の策定、ESGに関する課題、リスクと機会の把握、ESG活動状況の確認を行なっています。ESG外部アドバイザリーボードは社外有識者で構成され、ESG委員会の諮問に対する答申や提言を行ない、社外の視点を経営に反映させています。

ESG委員会で2019年に議論されたテーマ

- ・ESG戦略および中長期目標の策定
- ・ESG外部アドバイザリーボードの設置
- ・注力アクションの選定と承認
- ・社内コミュニケーションプラン

- ・ESG推進のための新しい仕組みづくり

ESG外部アドバイザリーボードからESG委員会に提案されたテーマ

- ・社内での「Kirei Lifestyle Plan」の実行・推進
- ・消費者の倫理的消費の実現に向けた花王の支援方法

TCFD提言への賛同

花王は2018年に気候関連財務情報開示タスクフォース(The FSB Task Force on Climate-related Financial Disclosures:TCFD)がまとめた提言に賛同を表明しました。複数の気候変動シナリオで事業に与える影響の定量評価を2019年に実施し、原油価格の情報や炭素の価格付けなどで一定規模の影響があることが判明しました。一方、花王はESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」のもと、リデュース・リサイクルイノベーションによる使用資源の最小化、脱炭素への始動をしていることなどから、TCFDのシナリオ分析を活用し、気候変動に対して対応・適応する能力があると評価しました。評価結果は今後の戦略に反映していきます。

執行役員 ESG部門統括
デイブ・マンツ